



## 山形県の古木・名木 145

### 金田家のヒノキ (かねだけのひのき)

長井市勸進代

〔森林やまがた No. 222 号(2026年3月)掲載〕

今回は長井市指定天然記念物の「金田家のヒノキ」をご紹介します。天然記念物指定の名称はヒノキですが、樹種はヒノキ科ヒノキ属のサワラです。ヒノキとサワラが混同される例はあちこちに見られ、特にヒノキの自生しない地域では、鱗状葉(鱗片葉)を持つグループは大雑把にヒノキと呼ばれていたようです。国指定の天然記念物「沢尻の大ヒノキ」(福島県いわき市)も樹種はサワラです。

「金田家のヒノキ」は、樹高は17m、根本周は6.05m、幹周は4.99m、枝張は東西で11.4mです。この数値は平成2年天然記念物指定時のもので、現在はも

っと大きくなっているものと思われます。幹は2.5mほどのところで3幹に分かれており、樹形に大きな欠損はなく樹勢も良いようです。なお、ヒノキとサワラの見分け方は、葉裏の白い気孔がヒノキはY字形、サワラはH(X)字形です。また、ヒノキは葉先が丸く、サワラは尖っており葉先に触るとチクチクします。

〔山形県森林協会〕

